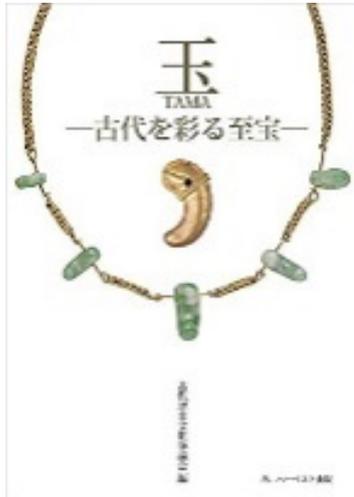


「玉-古代を彩る至宝」



著者：古代歴史文化協議会

定価：1,980円

出版社：ハーベスト出版 (2018/10/23)

発売日：2018/10/23

言語：日本語

単行本：232ページ

ISBN-10：486456289X

ISBN-13：978-4864562898

古来よりその美しさだけでなく、神秘性を持つ特別な存在であった「玉」。

それはどのように作られ、どのように使われたのか。

全国的な調査研究の成果から、知られざる古代の玉の深層に迫ります。

古代歴史文化にゆかりの深い14県(埼玉県・石川県・福井県・三重県・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・福岡県・佐賀県・宮崎県)で構成される「古代歴史文化協議会」が、平成26年度から調査研究を行った「古墳時代の玉類」の成果をまとめたものです。

玉とは何かに始まり、古代史料から見える玉作りの技術、玉飾りの世界、流通、信仰を探り

王権の関与と地域の多様な玉類を豊富な写真と解説で解き明かしている。

日本の宝飾の原点を探る貴重な資料である。